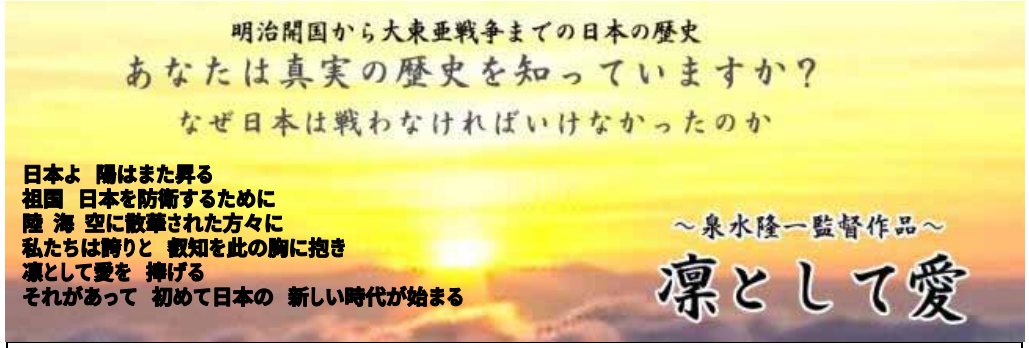

「凛として愛」は YouTube (1/7～7/7)、ニコニコ動画(1/3～3/3)で見る事ができます。(検索 ⇒ 凛として愛)
脚本・監督・ナレーションをされました泉水隆一監督は、国家のために尊い命を捧げられた数多の英霊に報いるには、「凛として愛」が日本全国に広まり、一人でも多くの日本人が先人がたに対して感謝と哀悼の思いを持つことだと生前、切々と話されていました。
故泉水隆一監督の崇高な思いを心に刻み、私たちは「凛として愛」が一人でも多くの国民の目にふれることを願って止みません。「凛として愛」を収録したＤＶＤは送料、手数料込みの 1000 円でお譲りしております。
お名前、ご住所、ご連絡先、枚数をご記入の上 hanadokei2010@gmail.com までお問い合わせください。
愛国女性のつどい　花時計　「凛として愛」拡散プロジェクト

「凛として愛」拡散プロジェクトホームページより　http://www.hanadokei2010.com/rintositeai/index.php

「凛として愛」について … 明治開国から大東亜戦争まで日本が戦って来た歴史を約 70 分でまとめてあります。

- 明治 27 年の朝鮮半島をめぐる清国との戦い
- ロシア、フランス、ドイツの三国干渉
- 朝鮮半島、満州をめぐり大国ロシアとの戦い
- 満州事変、支那事変、ＡＢＣＤ包囲網。

なぜ日本は戦わなければいけなかったのか。資料に基づいて制作された映画です。
(学校でも、マスコミ (TV・新聞) *でも教えてくれない) 「真実の歴史」を知る事ができます。
*産経新聞・やまと新聞・チャンネル桜は除きます。この報道機関は真実を伝えようと努力してくれています。

制作の経緯

靖国神社創立百三十年記念事業の一環として本館改修と新館増築にともない遊就館で真実のドキュメンタリー映画を上映することになり其の映画制作を依頼されたのが泉水隆一監督でした。
監督が渾身の力を込め二年の歳月をかけて出来上がったのが「凛として愛」でした。
映画完成前から他国からの批判を気にした保守陣営の圧力などがありました。
上映はされたものの、この歴史の真実を伝える「凛として愛」をたったの二日で上映中止にしてしまったのです。
監督の無念さは計り知れません。

泉水隆一監督について

泉水隆一氏はアニメ『新造人間キャシャーン』や『うる星やつら』などの脚本スタッフとして制作に関わってきました。
「凛として愛」の監督・脚本・ナレーションを泉水隆一氏ご本人が行っています。
泉水監督は平成２２年７月１６日に逝去されました。8年前の此の日、僅かに二日半で上映中止され絶望の淵にあった日でした。
泉水氏の告別式は式場の関係で２６日に行われましたが、この日こそ、泉水監督が反日思想がはびこり、総理大臣も靖国神社に背を向ける日本の現状を憂いて、靖国神社に、渾身の思いを込めて書かれた、映画制作への珠玉の趣意書を出された日でした。

＊「愛国女性のつどい　花時計」は「産経新聞」「チャンネル桜」「やまと新聞」を応援しています！
どうか「産経新聞」と「朝日新聞」の違いを、インターネットで調べて、知ってください。

どうか「凛として愛」を一人でも多くの日本人に広めるためにご協力をお願い致します。

YouTube「凛として愛 (1/7)」 コメント欄より

評価の高いコメント
◎日本人なら必ず見て下さい！　日本に誇りを取り戻そう！　私達の素晴しき先人達を誇ろう！
◎この動画は全ての日本人に見て欲しい位です^^　up 感謝です。

コメント抜粋
◎友人から勧められて　DVD　を見ました。涙が止まりませんでした。私も去年まで偏向報道で騙されていましたが、今では日本が世界で一番好きになりました。英霊様への感謝の気持ちで一杯です。
◎真実を伝える映像は捏造映像とは品格が違いますね。
◎英訳して世界中の人に見てもらいたい
◎ブログに使わせていただきます。靖国神社の検索で見つけました。「凛として愛」ありがとう
◎多くの日本人に見てもらいたい。とくに私としてはこの時代に多くの苦労をされた高齢の方々を看護する病院関係者にみてほしい。大切に敬愛の念を以て看護してほしい。
◎最後の７まで観ました。涙がでました。どうもありがとうございます。日本を護らないと英霊に申し訳ない気持ちになります。エックス良いじゃないですか？とってもバックとも合ってて素晴らしい選択です。
(注：X-JAPAN の選曲は泉水隆一監督が若いスタッフの意見を取り入れたのだそうです。それからナレーションは監督ご自身がされていますが、自分では考え付かない台詞が多々出てくるのは英霊さんたちが言わせたのかもしれないとおっしゃっていらしたそうです。)

「凛として愛」　1シーンより

【日本の侵略行動と言われた満州事変は、まさに戦後に捏造され、今日まで長く続いているものなのだ。**真実を隠し、覆い隠すものは誰か。**】
YouTube『凛として愛(4/7)』　3分 50 秒頃　(ＤＶＤ：３２分過ぎ)
「真実を隠し、覆い隠すもの」…どうか皆さんもその正体を考えてください。
残念ながら今の日本では「真実の歴史」を、学校でもマスコミ (産経新聞除く) でも教えてくれません。自分で調べない限り「真実の歴史」に辿りつけないのです。
未だに「日本は侵略戦争をした」と「日本は悪者である」と、自国民にさえ堂々と学校で教え、堂々とTV・新聞で報じ、政治家でさえ「他国に迷惑をかけた」と謝罪してしまうこの**「真実を隠し、覆い隠すもの」**の正体をご自分で探してください。
(検索 ⇒ 歴史問題は日本発　歴史問題の捏造　マスコミの正体　朝日新聞の正体)

YouTube「凛として愛(1/7)」より
(小学校の時に初めて遊就館に行ったんですけれども、その時に、あの一初めて戦争に行った方の、遺書や想いが綴ってある資料を見て涙が出てきたんです。それで、そのことについて私は小学校で何も教わってなかったなと気がついたんです。教科書にもあまりそういう事が載ってなかったし、日本の歴史だけじゃないかも知れないんですけど、世界の歴史を学んでも、やっぱりその時代に生きた人にしかわからない歴史っていうのがあると思うんです。絶対にそういう状況にならなきゃわからない……)
‥‥‥‥‥‥‥‥
ニッポンは敗れたままでいる。
平和を享受する現代ニッポンから遠く離れた異国には未だ収集されない将兵の遺骨が山野に埋もれている。
いつになったらニッポンは戦いに散った将兵を暖かく迎えてくれるのだろうか、全国民が祈りを捧げてくれるのだろうか。靖国神社に祀られる二百四十六万六千余柱の英霊は未だ侵略戦争の汚名をきせられたままでいる。
かつて南方の島々で戦ったニッポン軍に援軍は来なかった。**ならば今から援軍を送る。**
ニッポンを変える援軍を送る。あなた方の真実を、痛みを、私たちは伝えていきます。

YouTube「凛として愛(5/7)」　6分 30 秒頃　(ＤＶＤ：44 分ぐらい)
子どもを愛し、妻を愛し、兄弟を慈しみ、両親を尊敬する多くの先人、誰一人、日本が侵略戦争をしたとは思っていません。外国の土地を強奪した事実もありません。
礼(れい)　義(ぎ)　智(ち)　信(しん)　という厳しい道徳観の中で育った日本人は、不正義を憎み、卑怯・卑劣を嫌う武士道を軍人魂として教育されてきています。
あなたがもし日本人ならば、そして正義を愛するならば、かつての日本人も同じ日本人です。
あなたがたが誇れる先人の方々です。
あなたが自分を信じるならば、日本を守った先人を信じてください。英霊を、先人の「愛」を見つめてください。

どうか「真実の歴史」を知っている政治家、日本を愛し、国益を護ってくれる政治家を、一人でも多く国政に送ってください！　日本を護るために！！

皆さんは今の国会議員の中に「真実の歴史」を知っている議員はどれぐらいいると思いますか？
残念ながらごく少数しかいないのではないかと思います。先の衆議院選挙で「真実の歴史」を知っており、日本を護るために頑張って来られた政治家の方々はことごとく落選してしまいました。　（検索　⇒　国想う在野議員の会）

「真実の歴史」を知っている政治家、それを国民に伝えようとしている政治家は、ことごとくマスコミによって叩き潰されるか、国民に知られないように無視されてしまうのです。

安倍元総理の「戦後レジームからの脱却」や教育改革というのは、国民への「真実の歴史を知りましょう」、子ども達へ「真実の歴史を教えましょう」というメッセージでしたが、見事にマスコミに叩き潰されました。

「凛として愛」をご覧になられましたら、安倍元首相がおっしゃっていた「戦後レジームからの脱却」　「美しい国、日本」というのは、こういう事だったのかと、理解できると思います。そしてそれを潰そうとしているのが**「真実を隠し、覆い隠すもの」**である事に気づいてください。

安倍元総理はそういうものと闘っていたために徹底的に、マスコミパッシングを受けました。

麻生元総理も「真実の歴史」を知っています。麻生元総理の着メロは「君が代」です。国会中継でも取り上げられました。
（検索　⇒　麻生　君が代　着メロ）

かたや菅首相はかつて「国旗・国歌法」に反対し、最近ではミッキー安川氏（故）の番組内で国歌斉唱時に立ったか立たなかったかが国会で質疑応答される始末です。　（検索　⇒　菅　国旗国歌）

MSN 産経ニュース：「菅首相は立たなかった」　国歌斉唱問題で答弁と矛盾の証言（2010.8.22 21:45）
「菅さんは立とうとしなかった。安川さんから『立つだけ立ちなよ』と促され、ようやく立った」
産経新聞の取材にこう証言したのは、現場を目撃した男性スタッフ（53）だ。男性は番組中、スタジオの首相らの様子を隣のミキサー室から窓越しに見ており、今でもはっきりと記憶している。／安川氏はゲストに次のように語っている。「菅さんがこの番組に出たんです。さあ（君が代を）歌えよと言ったら、『えっ、なに、国歌を歌うの。おれ歌いたくねえんだよな』と言って…」

そして忘れてはいけないのが、菅首相は拉致実行犯の辛光洙容疑者の釈放嘆願書にサインしているという事です。

MSN 産経ニュース：首相、拉致実行犯の釈放嘆願署名「反省している」（2010.6.14 17:00）
［主張］菅新首相　国の針路正し危機打開を　ばらまき政権公約を撤回せよ（2010.6.5 03:11）
不安材料は、北朝鮮による拉致問題への対応だ。拉致実行犯である辛光洙（シン・ガンス）容疑者らの釈放嘆願書に菅氏が署名したことがあるからだ。個別名まで確認する余裕はなかったなどと釈明しているが、明確に謝罪すべきだ。対北制裁問題で毅然（きぜん）とした姿勢を示すかどうか注視したい。

この両方の情報は本来、国民に知らせるべき情報ではないでしょうか？
日本国民として、着メロが「君が代」の総理って嬉しくないですか？
日本国民として、国旗・国歌法に反対した人、拉致実行犯の釈放嘆願書にサインした人に総理になって欲しいと思いますか？　今の日本（戦後以降）はこういう情報が国民に届かない（届けない）仕組みになっている事に気づいてください。

そして忘れてはいけないのが、中川昭一元議員（故）です。彼も必死に日本を護ろうと闘って下さいましたが、彼に対するマスコミ叩きは皆さんのご記憶に新しいと思います。西村眞悟元衆議院議員はご自分のＨＰで、中川氏の事を以下のように書かれています。

【あの中川さんの朦朧状態は、飲酒によるのではない。それを裏付ける証言もある。しかし、マスコミは、真実を追究するよりも、中川非難のプロパガンダに流れ込み、一切の弁明を許さなかった。経験した者にしか分からないことかもしれないが、中川さんにとっては、日々繰り返される報道によって、その都度千枚通しで体を突き刺されるほどの苦痛だっただろう。特に、選挙中の精神的苦痛と肉体的疲労は計り知れない。この攻撃は、殺意を上回る執拗さであった。いずれ書くが、父上の中川一郎氏と同じように、**日本を愛し、日本を取り戻そうとした中川昭一さんに対する八ヶ月におよぶマスコミの執拗な攻撃は、「予告された殺人の記録」である。**】

「朝日の嘘報道！中川大臣のバチカンでの失態はなかったとバチカン和田誠神父が語る」
（正論２００９年５月号　P100～101）
●バチカン神父が見た“あの日”の大臣（バチカン放送局　神父　和田誠）　（検索　⇒　中川　バチカン神父）
私は今、日本から送られてくる報道に、大きな戸惑いと、深い悲しみを抱いています。
私自身も関わった中川前大臣の博物館見学が、何故あのように、事実と異なる形で報じられるのでしょうか。（中略）
朝日新聞の報道ののち、私は日本の新聞社、通信社、テレビ局から取材を受け、事実かどうかと聞かれました。
そこで、中川前大臣の行動に非常識な点はなかったと繰り返しご説明したのですが、**私の発言は一行も報じられませんでした。**
日本のマスコミはすでに、中川前大臣は酔っていたはずだ、非常識な行動をしたに違いない、という先入観にとらわれており、私の意見をまともに聞こうとはしなかったのでしょう。どの報道も朝日新聞と似たり寄ったりだったことは、残念でたまりません。
中川前大臣には、ご同情申し上げます。また、御家族をはじめ身近な人たちのご心痛を思うと、やり切れない思いです。私はたまたま通訳として、今回始めて中川前大臣とお会いしましたが、その場にいたものとして、事実と異なる報道で苦しんでおられるのを見過ごすわけにはいきません。このため取材にも積極的に応じてきましたが、記者たちの先入観を改めることはできませんでした。
今はただ、バチカン観光における誤解が一日も早く解け、皆さまに心に平穏が訪れるよう、祈るだけです。

MSN 産経ニュース：「主人は不器用でも嘘はつかなかった」故中川元財務相夫人、郁子氏（2010.7.17）
主人は本当にばか正直で不器用でしたが、うそをつくことが決してなかった。社会で生きていくにはうそもつかなくちゃいけないかもしれないけれど、せめて政治家はうそをつかないでほしい。

MSN 産経ニュース：「売国やめよ」中川昭一さん偲ぶ会で菅政権に批判続々（2010.9.29）
昨年１０月に急死した中川昭一元財務・金融担当相（享年 56）を偲ぶ会が 28 日夜、都内で開かれ、政界や官界、財界などから１０００人以上が集まった。希代の保守政治家を慕う人々からは、沖縄・尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件で「弱腰外交」を続ける菅民主党政権に対し、厳しい言葉が聞かれた。（夕刊フジ）

このようにマスコミは敵(?)を決めたら徹底的に叩きます。しかし、安倍・麻生元総理、中川昭一さん、西村眞悟さん、田母神さん達がマスコミでどんなに叩かれても、インターネットで根強い人気があるのは、誰が、日本を愛し、国民を愛し、国益を一番に考えてくれている愛国者が知っているからです。中川昭一さんの会見を何度流されようとも、愛国議員がどんなにＴＶ・新聞でパッシングを受け落選しても、マスコミの手段を知っているので、中川さんをはじめ愛国議員・愛国者を応援する気持ちは変わりません。

しかし、新聞・ＴＶからしか情報を取っていない方々は、誰が「真実の歴史」を知っている政治家か、誰が日本を愛し、国民を愛し、国益を一番に考えてくれている政治家か知りません。新聞・ＴＶが知らせないので当然だと思います。

そういう中でまさに今、**「真実を隠し、覆い隠すもの」**たちによって現政権が誕生しました。

私たちは特定の政党や政治団体にも属していません。「真実の歴史」を知っており、海外からの圧力や、謝罪要求にも毅然とした態度が取れ、日本の国益を護る、政治家を応援したいと思っています。

私たちは日本国民が「真実の歴史」、「マスコミの正体」を知り、正しい情報が与えられたなら、正しい判断をしてくれると信じています。そのために『凛として愛』をＴＶ・新聞に頼ることなく、「真実の歴史」「マスコミの正体」を先に知ったものの務めとして、知らない方々へ拡散して行きいと行動を起こしました。

インターネットで「愛国議員」で検索すると、様々なサイトがあります（逆もありますので是非！）。その情報を参考にし、ご自分の地域の愛国議員を見つけてください。育ててください。国会議員だけでなく、地方議員にもたくさんの愛国議員さんがいらっしゃいます。チャンネル桜さんの番組に出られたり、日本解体法案*を阻止しようと、街に出て訴えたり、日々頑張っていらっしゃいます。当HPでもこういう愛国議員さんを紹介しようと思いますので機会がありましたら覗いてみて下さい。

MSN 産経ニュース：［日本解体３法案］　ステルス作戦で準備着々　（2010.7.3）
民主党が実現を目指す永住外国人への地方参政権（選挙権）付与法案、選択的夫婦別姓を可能にする民法改正案、人権侵害救済機関設置法案（旧人権擁護法案）－の３法案が、参院選の争点にならないまま着々と準備されている。民主党は、国論を二分するこれら３法案を参院選マニフェスト（政権公約）に記載していない。その一方で、菅直人首相や関係閣僚は推進派として知られており、自治労など民主党の有力支持団体は強く成立を求めている。秋の臨時国会以降に順次法案成立を図ってくる公算が大きい。

井上政典さん(歴史ナビゲーター）は以下のようにおっしゃっています。皆さんも近くの国会・地方議員に関わらず聞いて下さい。きっと愛国者は嫌な顔を一つせず、キチンと丁寧に答えてくれると思います。
もう一度選挙の時に、テレビや新聞の情報に惑わされずにきちんと候補者の演説会に出て、「あなたは日本が好きですか？」と聞いてください。「はい」と即答したら、「尖閣諸島に行って戦えますか？」と聞いてみてください。どう返答するのでしょう。
日本の国会議員ならば、一辺たりともわが国の領土を他国に譲り渡す事があってはなりません。強く主張して初めて議論のテーブルに着く輩が相手だということを知るべきです。

私たちはいろいろな情報をインターネットから知ることができました。しかし、こういう愛国議員の方々は何から情報を得たのだろうと考えます。まだインターネットがない時代に「真実の歴史」を知ったという事は、日本という国を知り、護るために、きっとたくさんの本を読み、たくさん勉強をしたのではないかと想像します。どうかそういう議員さんを応援して、国政に送り出してください。どうぞよろしくお願い致します。

【青山繁晴さん　「ネット動画「超人大陸」民主党も自民党も死ぬ覚悟で政治をしているか？！」より】
選挙戦になって「私を助けてください」と、例えば土下座をする政治家に投票するという事は現に行われてきました。
「私を助けてほしい、自分も助かりたい、そういう人は政治家になるな！」というのが本当はまさしく、民主主義の政治だったらそこが一番基本なんですよ。**「私は助からなくてもいい。他の人を助けたいんだという人だけを国会に送る」**という有権者に僕たちは変わらないと、自民党や民主党そんなことに関係なく、この国の政治は変わらないと思うんですよ。
「青山繁晴さんとは？」　（検索　⇒　青山繁晴）
毎週水曜日、関西ＴＶの夕方のニュース番組「スーパーニュース・アンカー」という番組に出演されてニュース解説をされています。
放送直後にはインターネットで番組動画が配信され、木曜日早朝には主婦の方によって番組の文字起こしが UP されています。
チャンネル桜さん解説「独自且つ的確な視点と情勢分析による鋭い提言や価値ある情報発信において他の追随を許さない」

☆「愛国女性のつどい　花時計」応援議員さんたち☆　青山繁晴さんのおっしゃる、自分より国民を大事にして下さる方々です。
下記、議員さんの選挙区の皆さん、どうかご自分の選挙区にこういう議員さんがいてくれる事を誇りに思ってください。
安心して国政へ送り出してください。不安な方はインターネットで議員さんの名前を入れて検索して下さい。もしかしたら皆さんが知らない活動の数々に驚かれるかも知れません！　日本にはこの方々のお力が必要です。どうぞよろしくお願い致します。
中山成彬　[宮崎１区]／**萩生田光一**[東京24区]／**赤池誠章**[山梨１区]／**木原誠二**[東京20区]／**木原稔**[熊本１区]
菌浦健太郎[千葉５区]／**戸井田とおる**[兵庫11区]／**西川京子**[福岡10区]／**西村眞悟**[大阪17区]／**林潤**[神奈川４区]
牧原秀樹　[埼玉５区]／**松本洋平**[東京19区]／**鳥波龍治**[愛知３区]／**武藤容治**[岐阜３区]